

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ・第67回厚真町成人式
- ・室内ソフトボール大会のご案内
- ・地域ボランティアの募集
- ・12月定例教育委員会の報告
- ・あつま教師力アップ研修会の報告
- ・児童生徒の『学習・生活・運動習慣』向上運動説明会のお知らせ
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

第67回厚真町成人式

第67回厚真町成人式が、1月11日に総合福祉センターで開催されました。今年は平成6年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた方55人が対象で、41人が出席し、社会人としての第一歩を歩み出しました。

式辞では、佐藤泰夫教育委員長が「人生の困難にくじけることなく、家族や地域社会を愛し、ふるさと厚真を愛してください。」と激励しました。

このあと、誓いのことばを橋本侑浩さん(高丘)、交通安全宣言を池田哲平さん(厚和)が行い、気持ちを新たにしていました。また、厚真町からの記念品を矢倉ふうかさん(上厚真)が宮坂尚市朗町長から手渡されました。

式典のしめくりに、新成人を代表して森本健斗さん(本郷)による答辞が行われ、これまで20年間育ててくれた両親へ感謝の気持ちを話し、会場から大きな拍手が送られました。

式典終了後の、町民吹奏楽団の演奏では、新成人が生まれた90年代のポップスメドレー等が演奏され、新成人の門出に花を添えました。

会場では、お祝いに駆け付けた厚真町イメージキャラクターのあつまると記念写真を撮ったり、友人たちとの旧交を温めたりしていました。



児童生徒の『学習・生活・運動習慣』向上運動の説明会を行います！

【向上運動の4つの柱】

- 1「早寝・早起き・朝ごはん」、「外遊び、運動、手伝い」の奨励
- 2「家庭学習」、「家庭での読書」の奨励
- 3「テレビ・ゲーム・インターネットに接続するメディア」に触れる時間のルール
- 4「インターネットに接続する携帯電話等のメディア」利用のルール

昨年、本町の児童生徒、保護者の皆様にご協力をいただいた「情報メディアの利用等」のアンケートでは、子どもたちの生活習慣やインターネット、携帯電話等の利用について課題が浮かび上がってきました。

そこで、子どもたちが心身ともに健康で、安心安全な生活を送ることができるよう、教育委員会、各小中学校、厚真町PTA連合会で連携を図り、全町的な取組として、平成27年4月から児童生徒の「学習・生活・運動習慣向上運動」に取り組むと考えております。

つきましては、この向上運動の趣旨等について、町民の皆様、児童生徒の保護者の皆様を対象に下記の日程で説明会を開催させていただきますので、多数の皆様のご出席をお待ちしております。

この説明会では、この向上運動と関連する「厚真町いじめ防止基本方針案(概要)」(平成27年4月施行予定)についても、説明いたします。

説明会の日程

平成27年2月2日(月)19時～ 厚南会館

平成27年2月5日(木)19時～ 厚真町総合福祉センター

室内ソフトボール大会

「第20回室内ソフトボール大会」を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

- ◆とき 2月17日【火】～20日【金】
開会式 午後6時から(初日のみ)
第1試合 午後6時30分開始
第2試合 午後7時30分開始
第3試合 午後8時30分開始
- ◆ところ あつまスタードーム
- ◆出場資格 町民または町内に職場を有する方で中学生以上の方。
職場・自治会・グループなどチーム編成は自由です。
ただし複数チームへの選手の2重登録はできません。
- ◆監督会議 2月9日【月】午後7時
- ◆申込み 2月2日【月】午後5時までに各自治会や前年度出場チームに配布している申込み用紙に記入し下記宛に提出してください。
- ◆問合せ 教育委員会 社会教育グループ
☎27-3775(スポーツセンター)

12月臨時・定例教育委員会

12月4日に開催された教育委員会臨時会、12月26日に開催された定例教育委員会の会議の内容についてお知らせします。

- ◆報告事項
教育委員と小中学校PTA 役員保護者との懇談会(12月4日)、厚真町教育支援委員会(12月10日)、平成26年度厚真町児童・生徒体力運動能力調査結果、厚真町成人式(1月11日)、朗読とギター演奏会(1月20日)について(7件)
- ◆協議事項
平成26年度全国学力学習状況調査結果の概要、平成27年度教育費予算要求内容、平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載、厚真町教育大綱(平成27年度分)策定に向けた骨子、事業等の方向性について(4件)
- ◆その他
教育行政新制度施行(平成27年4月施行)に伴う総合教育会議の開催について(1件)
- ◆問合せ
教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

学校支援ボランティア放課後ボランティア募集中!

学校の教育活動中や放課後に子どもたちの成長を見守って頂ける“地域ボランティア”の方々を募集しています。「できるときに」「できることから」「できる範囲で」……子どもたちの健やかな成長を見守る優しい応援団になっていただけませんか? お気軽にお問合せください。

- ◆問合せ 教育委員会 社会教育グループ
☎27-2495

○学校支援ボランティア

学校の求めに応じて、必要となるボランティアの活動日や内容をコーディネーターが調整し、地域の方々へ“学校応援団”として教育活動を支援して頂きます。

例：読み聞かせ、教科学習の補助などの学習指導補助、花壇の整備などの環境整備、登下校時の声掛けなどの学校安全にかかわる活動など

○放課後ボランティア

「放課後子ども教室」で、子どもたちの安全に配慮しながら集団活動を見守ったり、また、自分の特技を生かして子どもたちに体験活動を提供することもできます。

「あつま教師力アップ研修会」を実施

～多様性を認め、子どもと子どもをつなぐ学級づくりを考える～

12月26日、北海道教育大学釧路校准教授 二宮信一氏を迎え、今年度3回目となる「あつま教師力アップ研修会」を実施しました。

教育委員会では、学力向上やいじめ・不登校の問題等多様化する教育課題に伴う教職員の力量向上のため、様々な形で研修の場を提供しています。

今回の研修会では、二宮先生から学級の中にある様々な課題や困り感のある子どもたちにどう寄り添って、どの子にとってもフレンドリーな学級づくりをどのように進めるかなどについて学びました。右の写真にあるように多様な育ちの子どもたちにとってどのような指導が大切か、町内の教職員は熱心に耳を傾けていました。





成人おめでとう!



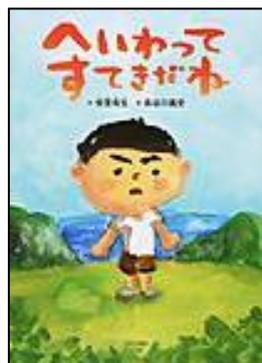
図書室だより

第7回MOE絵本屋さん大賞2014が決定しました!

第7回MOE絵本屋さん大賞2014が発表されました。

1位に選ばれたのは安里有生/詩、長谷川義史/絵『へいわってすてきだね』(ブロンズ新社)です。この絵本は2013年6月23日、沖縄平和祈念公園での沖縄全戦没者追悼式で、小学1年生の安里有生くんが朗読した詩に絵本作家の長谷川義史さんが絵をつけました。この詩は有生くんが1年生のときに、小学校で「へいわ」について考える授業があり、いつもの生活が「へいわ」なんだと思い、思いつくことをノートに書いてできた詩です。お気に入りには「ねこがわらう」のページとのことですので、ぜひ皆さんも読んでみてください。

●MOE絵本屋さん大賞は、月刊MOEが全国の絵本専門店、書店の児童書売り場担当者1900人にアンケートを実施し、もっとも支持された絵本30冊を決定する年間絵本ランキングです。



大人にも読んでほしい
1冊です。

★その他の入選作品★

『ノラネコぐんだんきしゃぼっぼ』工藤ノリコ/著 白泉社

『うんこしりとり』tupera tupera/著 白泉社

『うみの100かいだてのいえ』いわいとしお/作 偕成社

『おおかみだあ!』ヴァンサン・ブルジョ/絵などなど……

1月21日から図書室で特集をしていますので、ぜひ覗いてみてください。

今回紹介した本の他にも楽しい本がたくさんありますよ!

図書室からのおススメ本♪

成人を迎えた若い人に贈る本



『ハケンアニメ!』

辻村 深月/著

伝説の天才アニメ監督が9年ぶりに挑む「運命戦線リデルライト」。同じクールには期待の新人監督と人気プロデューサーが組むアニメもオンエアされる…。やる気みなぎるお仕事小説。



『「自分」の壁』

養老 孟子/著

「自分探し」なんてムダなこと。「本当の自分」を探すよりも、「本物の自信」を育てたほうがいい。「バカの壁」から11年、養老孟司が脳、人生、医療、死、情報化社会等、多様なテーマを語り尽くす。

青少年センターからのお知らせ

～夜間プラネタリウム投映会～

「ふたご座の物語」

お誕生日星座、黄道12星座のひとつ、ふたご座。今回は仲のいい兄弟を描いているふたご座とそれにまつわるお話しをしていきます。空が晴れていれば天文台で実際に星を観察しますのでぜひご参加ください。(時期としてはオリオン大星雲などが見頃です。)

とき 2月24日(火) 午後6時30分

ところ 青少年センター2階

※夜間プラネタリウム投映会、観望会は夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

新着図書紹介

ここに書いてある以外にもたくさんの新着図書があります。みなさんどうぞご利用下さい。

<p>一般書 『33年後のなんとなく、クリスマス』 田中 康夫/著</p>  <p>1980年代を過ごした「彼女たち」は今、何を思い、どう生きているのか。「なんとなく、クリスマス」33年後の物語。膨大な註も収録。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インテックス 誉田 哲也/著 ・深海の人魚 森村 誠一/著 ・狂信者 江上 剛/著 ・化土記 北原 亜以子/著 ・ブルース 桜木 紫乃/著 ・決戦!関ヶ原 伊東 潤/他著 ・ヤモリ、カエル、シジミチョウ 江國 香織/著 	<p>児童書 『鹿の王 上・下』 上橋 菜穂子/作</p>  <p>囚われていた戦士団の頭グアツは、不思議な犬たちが岩塩鉱を襲い、謎の病が発生した際に逃げ出した際に幼子を拾い、1つと名付け、育てるが…。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地雷をふんだがり 藤原 幸一/写真 ・家庭科室の日曜日 村上 しいこ/作 ・きえた草のなぞ マジヨリ・W.シャマツ/ぶん ・読書マリア、チャルカはだれ? クラゲイ・ミルズ/作 ・ないしょにかんぱい! 宮川 ひろ/作 ・砂漠のナイフガール マリ・ホーフ・ホルボーン/著 ・賢者のおくりもの オ・ハリー/原作
<p>実用書 『「君の椅子」ものがたり』 文化出版局/編</p>  <p>北海道には、生まれた子どもに木の椅子をプレゼントする小さな町がある。「君の椅子」プロジェクトの歩みや、椅子のつくり手と贈られた家族の物語を紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんより怖いがん治療 近藤 誠/著 ・ガからマグロが産まれる!? 吉崎 悟朗/著 ・ペコ入の母の玉手箱 岡野 雄一/著 ・社会不満足 乙武 洋匡/著 ・儲かる農業論 金子 勝/著 ・大人の男の遊び方 伊集院 静/著 ・認知症になった私が伝えたいこと 佐藤 雅彦/著 	<p>絵本 『ひゃくおくまんのサツウロス』 もたい ひろこぶん/文</p>  <p>ひとりではプレゼントを配りきれなくなったサツウロスは神さまにお願いをして2人になり、それからどんどん増えていき…。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかだにのって とよた かずひこ/作・絵 ・カッパもやっぱりむりでしょ? シゲタ 功作/作・絵 ・マラさんこんにちは ロズマリ・マニー/文 ・くまのがっこう ジャッキーとケティ あいはら ひろゆき/文 ・としょかんねずみ 4 タニル・カウ/さく ・キャプティンがとけるまで もとした いづみ/作

～図書室からのお知らせ～

■2月の休館日

2月11日【水】は祝日の為お休みです。

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時（月・水・金・土・日）

午前9時から午後7時（火・木）

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時（月～日）

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

■絵本の読み聞かせ

おはなしのびっこ 2月26日【木】

午前10時30分から午前11時

■2月の移動図書

6日【金】

上厚真小学校 午前10時10分～10時25分

13日【金】

上厚真小学校 午前10時10分～10時25分

18日【水】

ともいき荘 午後2時00分～2時30分

20日【金】

上厚真小学校 午前10時10分～10時25分

27日【金】

上厚真小学校 午前10時10分～10時25分

宮の森保育園 午前10時30分～10時40分

☆放課後子ども教室☆

新しい年が始まりました。年末年始の空模様のように、穏やかな一年となることを願います。放課後子ども教室は1月21日（水）から3学期の活動が始まりました。約2か月と短い時間だからこそ、大切に過ごしていこうと思います。

昨年末、放課後子ども教室では冬休み特別教室として、町の環境保全林でも森あそびや間伐体験、地元の木工場（大浦木工場）への見学、厚真の木を使ったマグネット制作などを行いました。『木は旅をする』をテーマに、森で生きている自然の中にある木が伐られたあと、どのようにして木材へと変わっていき、私たちの暮らしに使われていくのか。その過程を実際に森の中で遊びながら木に触れ、加工をする職人さんの話を聞き、自然の素材を使ったモノづくりを通して、木と自分の暮らしとの結びつきを体感する活動となりました。森遊びでは、積雪がなく雪遊びはできなかったものの、その分、森の奥の方まで探検にでかけることができました。枝を拾い集めて秘密基地づくりを楽しむ子や、大きなヤマブドウのつるにつかまってターザンロープをして遊んだり、自分の背の何倍も高い木に登ったり、子どもたちは自分がやりたいことを自由に選んで遊んでいました。おやつにと差し入れていただいたのはなんとシカ肉。「初めて食べたけど、美味しい！」と売れ行き好調で、あっという間にお皿は空っぽになりました。木工場の見学では、丸太を切る大きな電動のこぎりに目を丸くしたり、おがくずの山に飛び込んでみたり、普段の生活の中では出会えない物事に会うことができました。削りたてのおがくずに鼻を近づけると木の良い匂いがします。今回の活動では全体を通して、ただ見るだけではなく、自分の手で触ったり、匂いを嗅いだりと五感を使う場面が多く見られました。こうしていろんな感覚を使うことでより記憶に残る体験になったと感じています。枯損木などの伐り出しでは仲間とコミュニケーションを取りながら体を動かし、木工の時間は創造力を働かせ、道具の安全な扱い方を考えながら自分のイメージを形にする時間を過ごしました。活動を終えた子どもたちからは「森には遊ぶところがたくさんあって楽しかった」「木が旅をするところを見ることができて良かった」などの感想があり、身近な自然で遊ぶ面白さや、地域の産業の一つである林業について興味・関心を持ってもらう機会になればと思います。木工場の大浦さん、厚真町役場の職員の方、地域おこし協力隊（林業支援員）の方、町内外からお手伝いいただいたボランティアスタッフのみなさんのご協力に改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。今後、通常の活動でも学校林などを活用しながら、森遊びの面白さを伝えていきたいと思っています。



秘密基地完成☆



シカ肉美味しい♪

のこぎりを上手にを使って
間伐体験山ブドウのツルが
ブランコに！オリジナルマグネットの
でき上がり♪

大浦さんのお話を真剣に聞いています

実際に
木に触ってみます

大きなのこぎり！

遊んで学んだ2日間☆
ご協力いただいたみなさんに感謝です！